

< 学校教育目標 >

高い志をもって 生きぬく力を身につけた生徒の育成

< 研究主題 >

自らの学び、仲間との学びから“学ぶ楽しさ”を実感できる学習指導の在り方

< めざす生徒の姿 >

見方・考え方を働かせ、課題解決に向けて主体的に取り組み、「できた」「分かった」という達成感や仲間と学ぶ喜びを実感し、夢中に取り組める生徒

< 研究内容 >

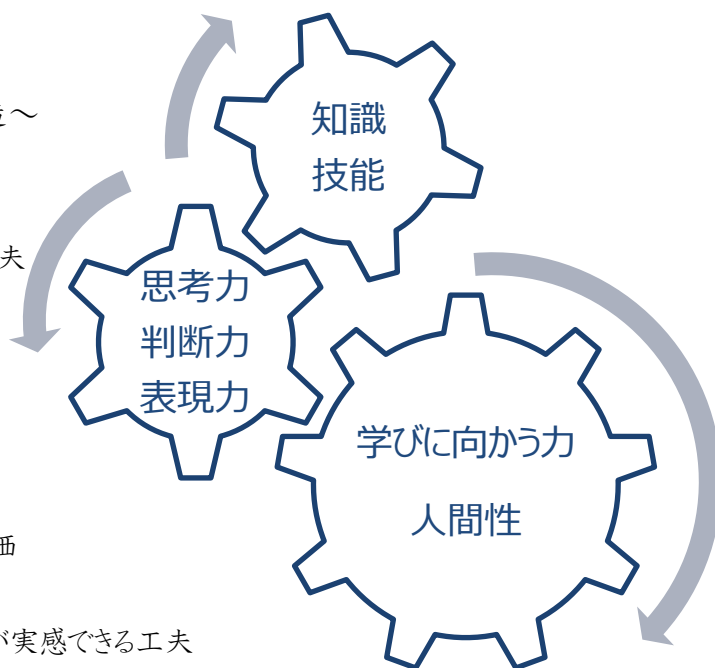
【学習計画】～教科における見方・考え方を位置付けた学習計画の作成～

- ① 領域や単元における系統性をふまえた単元指導計画(単元構想図)の作成
- ② 単元をつらぬく課題の設定や、学習内容をまとめる活動を通して、学びを生活や次につなげる場の設定

【学習活動】

～見方・考え方を働かせ
仲間と学び合う学習活動の創造～

- ① 生徒が疑問をもち、自らの考えをもって、主体的に課題解決できるような導入の工夫
- ② 見方・考え方を働かせ、対話的な学び合いを実現する手立てやねらいに即した効果的なICTの活用
- ③ 自己の変容を自覚する終末の工夫と評価
「何をどのように学んだのか」その結果
「何ができるようになったのか」生徒自身が実感できる工夫



【学習集団】～生徒と教師で学習活動を創りあげる主体的な学習集団の育成～

- ① 仲間と共に、主体的に学習に臨むための学習委員，教科係の育成
- ② 聞き方・伝え方(話し方)の指導の充実

< 生徒の実態 >

- 交流や振り返りの場面において、既習内容や学んだことをもとに、根拠を明らかにし、ICT等を活用しながら仲間に伝えることができる。
- 個別最適な学びとなるよう、生徒の意識の流れに沿った学習展開や、定着状況の見届けを確実にしていく必要がある。